



ムツムツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和3年12月22日
NO. 105



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

太田地域の方に学ぶ 日常生活で留めてほしいこと

元警視庁警視で主に特殊詐欺を担当し、今春、定年退職を機に奥様の古里へ移住した佐々木栄二さん。長年特殊詐欺などの組織犯罪と闘ってきたキャリアを大仙市のために生かそうと、大仙市市民部生活環境課の「不当要求等対策指導員」として、組織犯罪や生活トラブルに関する相談を受ける佐々木栄二さん。佐々木さんの職場は同市大曲通町の市民活動交流拠点センターにある市民相談室です。佐々木さんは「秋田の特殊詐欺被害を一件でも減らせるよう尽力したい」との気持ちで、「不審な電話がきたがどうすればよいか」「隣人トラブルを解決したい」などの市民からのさまざまな相談に、警視庁時代の知識や経験を生かして対応していらっしゃいます。その佐々木栄二さんを紹介する11月8日の秋田魁新報県南版の記事はご存じのことと思います。

佐々木さんが積み重ねてこられたキャリアは、私たちが経験したことのない未知の分野です。しかし、私たちが理解していると、私たちの生活に役立つ大切なことです。それを、その道のプロであり、太田住民である佐々木さんから少しでも学ぼうと「太田の人に学ぶ」講座兼消費生活出前講座を、昨日12月21日（火）に実施しました。

『日常生活で心に留めてほしいこと』~太中生へ~ 大仙市市民部生活環境課市民相談室 不当要求等対策指導員 佐々木 栄二 氏



最初に、警視庁勤務時代に実際に携わった多くの事件の中で、SNSでのつぶやきが原因の中学生が関わった事件について話をされました。その後、警視庁が制作した、犯人として捕まった少年のインタビューや話をまとめたDVDを視聴しました。

特殊詐欺の犯人たちは、スキを狙ってあの手この手で犯罪仲間を増やそうとしている、中学生も知らず知らずのうちに仲間引き込まれることがある、自分には関係ないことだと思っけていても、いつ自分に降りかかってくるか分からないので十分注意が必要であること実感させられた話と映像でした。

また、一端特殊犯罪に手を染めると捕まるまでやめられない。逃げることは命の危険が伴うため途中で逃げることもできない。犯罪に関わらないためには、うまい話や誘いにのらず警察に相談することが大切。警察は捕まえることも仕事だが守ることも仕事。家族にも伝えてほしいこと。おれおれ詐欺や架空請求、還付金詐欺、ネットに写真を載せたことから始まった事件など実際にあった話を伺いました。

目を見開き、身を乗り出しながら真剣な表情の子どもたちの姿は、他人事ではなく自分事として考えなければならぬことを強く認識したようでした。保護者の皆さんには、詳しい話の内容をお子さんからぜひ聞いていただき、家庭での防犯対策にしていだければと思います。



子どもたちからの質問にも丁寧に答えていただきましたが、佐々木さんは自身の失敗談から、自分を奮い立たせる言葉『苦しいときは前を向いて』と太中生を激励してくださいました。



佐々木さんのお話と激励に、感謝の言葉と“苦しい受験に向けて前を向いてがんばっていく”という決意を述べた3年生もいました。

「事実は小説よりも奇なり」。多くの学びを得た時間となりました。佐々木さんに深く感謝いたします。ありがとうございました。

インフルエンザにも注意を

例年はインフルエンザ流行で、今頃には郡内各学校で学校閉鎖や学年閉鎖、学級閉鎖の情報が聞こえてきていました。しかし、昨年、今年はそのような声も聞こえてきません。やはり、コロナ禍の中での、マスク着用をはじめとする感染症予防対策のおかげかと考えられます。このままインフルエンザの流行が起きなければいいのですが、油断大敵です。コロナウイルス感染症予防対策はインフルエンザ予防対策にもなります。学校でも予防の徹底を呼び掛け、実施していきますが、家庭でもできる予防の徹底を再度お願いします。

【家庭でできるインフルエンザ予防対策】

- ① 手洗い、うがい
- ② 予防接種
- ③ 規則正しい生活（栄養と十分な睡眠）
- ④ 加湿と換気
- ⑤ マスクの着用
- ⑥ 不要な外出×

